



小倉南特別支援学校

支援部だより

No.10

平成31年2月28日

～ 校内支援 一年間を振り返って ～

この一年間、支援部へはいろいろな支援や相談の依頼がありました。支援部への依頼のあった支援や相談についてまとめてみました。

【子どもへの支援】

子どもの行動観察や子ども自身の相談を聞いて、気持ちの整理をしたり、具体的な取組を話し合ったりしました。そして、その結果はお家の方や担任にお返ししています。



小学部では、子どもの行動を観察し、整理して、適切な行動やコミュニケーションがとれるように、本人や担任と話し合っています。

中学部では、学部や担任と相談しながら、集団参加が難しい時に見守ったり声掛けをしたりして、少しずつ参加できるよう取り組みました。

高等部になると、自分の障害や特性に気付き、受け止めながら、社会参加や進路に向けて取り組んでいます。そのため、思い悩んだり不安を感じることも多くなります。教育相談を通して、自己理解を深め前向きに過ごすことができるように継続して関わっています。



【保護者相談】

保護者からの相談は、家庭生活面での困り事や医療・福祉サービス等の利用について等が多かったです。家庭や学校でできる取組の工夫を話し合ったりしました。

また、関係機関との話し合いを持ったりもしました。



誰にでも困り事はあるものです。こんなことを相談してもいいのかななどと思わず、どんな相談でもお気軽にご相談ください。

お子さんが安心して楽しく過ごすことができるよう、また、保護者の方の不安が軽減されるよう、支援部と一緒に考え取り組んでいきたいと思います。

何かありましたら、連絡帳や担任を通して、お知らせください。お子様の送迎の際に、直接コーディネーターに声掛けしていただいてもかまいません。



スクールカウンセラー相談事業について

今年度もスクールカウンセラーの先生が、本校の子ども達の話をとくさん聞いてくださっています。今年度は、およそ月に2回、計22回の来校がありました。小学部から高等部まで、13名の子ども達の話聞いていただいたり、学年によっては全体の様子をみていただいたり、給食を一緒に食べてもらったりしました。子どもへの面談だけでなく、担任からの相談もありました。一年間、本校の子ども達と関わっての感想を寄せていただきました。



今年度は3年目の勤務となりました。コーディネーターの支援部の先生方に支えられ、子どもたちの授業見学・行動観察・個別面接・職員研修など多くの業務に携わることができました。

特に印象に残ったことは、関わることができた児童・生徒の方の成長・発達を垣間見ることができたことです。前向きに学習に取り組めることや苦手なことを自覚し、なんとか対応しようと努める姿は感動的といえるほどでした。個々の課題や苦手さなどはすぐに克服できるものばかりではありませんが、日々の取組みが大きな積み重ねとなり確実に本人の力になることを実感しました。スクールカウンセラーである自分自身も研鑽を積み、さらに成長できるよう頑張りたいと思います。今後ともよろしくをお願いします。

ドラえものの部屋 活用しています

今年度、ドラえものの部屋に、スイング等の感覚遊具を設置しました。ここでは、子ども達がいろいろな遊具を使い、楽しみながら身体を動かすことができる場所です。10月後半から、使用が始まりましたが、小学部から高等部の子ども達が学習時間や休み時間にやって来て、身体を動かすことを楽しんでいます。スイングに乗って揺れを楽しむ子ども、ボールの上に座って身体のバランスをとる子ども、それぞれが思いのままに身体を使って遊んでいます。感覚を入れて遊ぶことが好きな子どもが多く、ドラえものの部屋は、子ども達のお気に入りの場所になっています。来年度は、壁や床を改修することになっています。ますます、ドラえものの部屋が、子ども達にとって魅力のある場所になりそうです。

是非一度、覗いてみてください。



一年間ご協力ありがとうございました

今年度、支援部へのご理解・ご協力ありがとうございました。来年度も、子ども達のより豊かな生活に向けて、支援や相談を行っていきたいと思います。

